

「国有林材の安定供給システム販売(素材)」の結果公表

平成30年3月20日に公告しました「国有林材の安定供給システム販売(素材)」について、「申請書」及び「企画提案書」等を審査した結果、下記のとおり決定しましたので公表します。

記

1 システム販売の目的

一定の要件を満たす工場等と近畿中国森林管理局長が国有林材の販売に関する相互協定を締結し、その協定に基づき計画的な販売を実施することにより、国有林材の需要、販路の確保・拡大を図り、併せて地域における中核的な素材流通・製材の担い手の育成、流域管理システムの推進等に資することを目的とし、山元において販売するものです。

また、民有林材と国有林材をあわせた国産材の自給率アップに向けて、原木市場でB材・C材といわれる一般材及び低質材の利用・販路の確保等への取組を支援しています。

2 応募状況及び審査内容

(1) 応募状況

番号	関係森林管理署等	公募内容		応募件数	備考
		樹種	数量(m)		
1	三重	スギ・ヒノキ	1,040	2	
2	山口	スギ	1,620	3	
3	三重	原料材N	1,010	1	
4	山口	原料材N・L	1,010	2	

(2) 審査内容

企画提案書等の内容が、①システム販売の対象となる需要者の要件を満たしているか(必須項目)、②企画提案する取組の7項目に取組内容が具体的に記載されており数量的指標が記載されているか、③山元購入単価等の提案内容について、審査しました。

3 審査結果

番号	協定締結者	企画提案の概要	
		企画提案する取組	山元購入希望価格 スギ・ヒノキ(円/m) 原料材N・L(円/t)
1	奈良県桜井市大字戒重137番地 西垣林業株式会社 代表取締役 西垣 雅史	<ul style="list-style-type: none"> 近畿、中部地区を中心に、四国や北関東にも事業所がある事から広範囲に及ぶ流通ネットワークが構築出来ており、原木及び製品の往復便を活用し、広域へのローコスト輸送を可能とし実現している。 F/Jを活用する事によって本来では利用価値の低い曲材や紀伊半島において深刻な虫害木(アカネ材/アリクイ材)に対し、集材材としての付加価値を見出している。また、木皮・端材を乾燥用ボイラーの熱源利用等、原木に対し高い資源活用性を見出している。 未利用材をFIT認定のバイオマス発電所に供給する事に加え、小径木を2×4用の原木として有効利用し、木質資源の更なる有効利用が図れるよう進めている。 原木素材だけでなく製品に関しても同様に地域材の利用拡大に努めており、奈良県だけでなく三重県・京都府・愛知県の認定工場として実績を残している。 	平均単価 スギ 6,355円 ヒノキ 9,004円
2	鳥根県益田市高津7丁目6-10 安野産業株式会社 代表取締役 安野 伸路	<ul style="list-style-type: none"> 自社グループを工場に配置し、自社15t平ボディーでの輸送をする。製材工場はコンピュータープログラミングによる自動製材システムを導入し、作業の省力化と低コスト、高効率を可能にした。 鳥根県内2箇所の木質バイオマス発電所に年間3,000tのバイオマスチップを販売している。また工場より排出されるパルク等を破砕し、牧場や養鶏場に敷料としておが粉とともに販売している。 鳥根県は、子育て中の従業員を積極的に支援する企業を「しまね子育て応援企業(こころカンパニー)」に認定し、仕事と家庭の調和と男女共同企画の推進を図っており、弊社もH29.4.11に認定を受けている。 	平均単価 スギ 8,100円
3	奈良県桜井市大字戒重137番地 西垣林業株式会社 代表取締役 西垣 雅史	<ul style="list-style-type: none"> 近畿、中部地区を中心に、四国や北関東にも事業所がある事から広範囲に及ぶ流通ネットワークが構築出来ており、原木及び製品の往復便を活用し、広域へのローコスト輸送を可能とし実現している。 F/Jを活用する事によって本来では利用価値の低い曲材や紀伊半島において深刻な虫害木(アカネ材/アリクイ材)に対し、集材材としての付加価値を見出している。また、木皮・端材を乾燥用ボイラーの熱源利用等、原木に対し高い資源活用性を見出している。 未利用材をFIT認定のバイオマス発電所に供給する事に加え、小径木を2×4用の原木として有効利用し、木質資源の更なる有効利用が図れるよう進めている。 原木素材だけでなく製品に関しても同様に地域材の利用拡大に努めており、奈良県だけでなく三重県・京都府・愛知県の認定工場として実績を残している。 	平均単価 原料材N 5,000円 原料材L 5,000円
4	鳥根県益田市高津7丁目6-10 安野産業株式会社 代表取締役 安野 伸路	<ul style="list-style-type: none"> 自社グループを工場に配置し、自社15t平ボディーでの輸送をする。製材工場はコンピュータープログラミングによる自動製材システムを導入し、作業の省力化と低コスト、高効率を可能にした。 鳥根県内2箇所の木質バイオマス発電所に年間3,000tのバイオマスチップを販売している。また工場より排出されるパルク等を破砕し、牧場や養鶏場に敷料としておが粉とともに販売している。 鳥根県は、子育て中の従業員を積極的に支援する企業を「しまね子育て応援企業(こころカンパニー)」に認定し、仕事と家庭の調和と男女共同企画の推進を図っており、弊社もH29.4.11に認定を受けている。 	平均単価 原料材N 4,100円 原料材L 4,500円